

令和3年9月30日

海上自衛隊護衛艦「いずも」へのF-35B発着艦検証作業に伴う
同艦の岩国基地への寄港について

このことについて、本日（30日）、中国四国防衛局から説明があり、これを受けて要請を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 日時：令和3年9月30日（木） 10:00～10:30
- 2 相手方：中国四国防衛局長 今給黎 学（いまきゅうれい まなぶ）
海上自衛隊第31航空群司令部首席幕僚
山田 元昭（やまだ もとあき）
- 3 要請者：岩国市長 福田 良彦（ふくだ よしひこ）
- 4 国からの説明内容：別添のとおり

【説明概要】

- ・ 平成30年の防衛大綱等において、防衛省は、短距離離陸・垂直着陸機を導入することを決定し、宮崎県の航空自衛隊新田原基地にF-35Bを、令和6年度に6機、7年度に2機納入する予定。
- ・ また、自衛隊F-35Bの運用の柔軟性を更に向上させるためには、F-35Bを護衛艦「いずも」、「かが」から運用可能とする必要があるが、現時点で、自衛隊のF-35Bが配備・運用されていないため、今般、米海兵隊の支援、協力を受けて、10月3日（日）から7日（木）の間の1日、太平洋上において、米海兵隊F-35Bの「いずも」への発着艦に関する検証を実施する。
- ・ 今回の検証作業には、米海兵隊岩国基地所属のF-35B 2機が参加する。
- ・ 「いずも」は、検証作業に必要な人員、機材の搭載等の準備のため、9月30日（木）に岩国基地に入港し、検証作業終了後、再度、岩国基地に入港する予定。

5 国への確認事項及び回答

○ 参加部隊や人員等、検証作業の詳細及び、この時期の実施となった理由について

「いずも」には、発着艦検証に必要な米海兵隊員、データ収集のための造船所員等、検証作業の見学のため航空自衛官が乗艦する。

検証作業実施のタイミングについて、「いずも」は、令和2年度末からの定期検査に合わせて、F-35Bの発着艦を可能とするための部分的な改修（飛行甲板上の耐熱塗装・標識塗装等）を実施しており、本年6月末に1回目の改修を終了した。今般の検証では、同改修後の「いずも」において、F-35Bが支障なく発着艦可能であるかといった点について確認するとともに、今年度末からの定期検査に合わせて実施する護衛艦「かが」の改修において、その検証結果を反映することを想定しており、米側と調整の結果、この時期に実施することになった。

（裏面に続く）

○ 米海兵隊のF-35Bを「いずも」から運用させることについて

「いずも」型護衛艦の改修を行えば、事故等の緊急時や日米共同訓練といった場合において、能力的には、米軍のF-35Bの発着艦も可能になると考えている。

他方で、改修後の「いずも」を用いて、具体的にどのような場面で日米共同訓練などを行うかについては、現時点で検討中であり、予断をもってお答えすることは差し控える。

○ 今回の発着艦検証後、再度、検証のために岩国基地に「いずも」が寄港することの有無について

現時点で、「いずも」には、そのような計画はない。

○ 今後の自衛艦の岩国基地への入港、運用について

現時点で、今回と同様に、「いずも」型護衛艦へのF-35Bの発着艦検証のために、自衛艦が岩国基地に入港する計画はない。

自衛艦が今後も岩国基地に入港し、運用するかどうかについては、部隊運用に関する事項であり、お答えは差し控える。

いずれにしても、自衛艦の入港情報については、適時適切な情報提供に努めてまいる。

○ この度の検証作業に参加する者の新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置について

今回、検証作業に参加する「いずも」の海上自衛官はもとより、米海兵隊F-35B部隊の者等、全ての関係者は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期している。

6 国への要請内容（口頭要請）及び回答

【要請内容】

- 発着艦検証作業の実施にあたっては、騒音など、基地周辺住民に影響が及ぶことがないように配慮すること。
- 岩国基地を艦船等の母港及び寄港地としないこと。

【回答内容】

- 要請については、防衛本省にも伝達し、適切に対応する。
- 防衛省が、国の安全保障のために、必要な施策を進めるにあたっては、地元の皆様の御理解と御協力を得ることが大変重要と認識している。
- この度の「いずも」型護衛艦を改修し、洋上において、F-35Bの離発着を可能とすることは、広大な太平洋側を含む我が国の海と空の守りについて、自衛隊員の安全を確保しながら、しっかりとした備えを行うために、必要不可欠なものであり、皆様の御理解と御協力を賜るよう、よろしくお願いします。

7 市長コメント

本日、中国四国防衛局長から上記のとおり説明がありましたが、護衛艦「いずも」へのF-35Bの発着艦検証作業については、同艦の改修が完了したことに伴う必要な作業であり、市としまして、今回の岩国基地の港湾施設への入港については、一定の理解をしたところです。

今年度、米軍艦船の岩国基地への入港が相次ぐなど、艦船の入港により基地周辺住民に不安や懸念もあることから、今後とも、同港湾施設が整備された本来の目的から逸脱した運用が行われることのないよう、また、検証作業の実施中、F-35Bの飛行等による住民生活への影響を可能な限り最小限にとどめるよう国及び米軍には十分な配慮を求めるものです。

護衛艦「いずも」へのF-35B発着艦検証作業について

2021年9月
防 衛 省

護衛艦「いずも」は、必要な場合にはF-35Bの運用が可能となるよう改修を実施中。一部改修（飛行甲板上の耐熱塗装等）が完了したことに伴い、米国の支援を受けて「いずも」へのF-35Bの発着艦検証を実施予定。

1 時 期

令和3年10月3日(日) ～10月7日(木)(予備日含む)の間の1日

※「いずも」は検証作業準備のため、9月30日(木)に岩国基地入港。検証作業終了後に再度岩国入港予定

2 発着艦を行う海域

太平洋上

3 参加部隊等

○海上自衛隊 護衛艦「いずも」

○米海兵隊(岩国) F-35B

4 その他

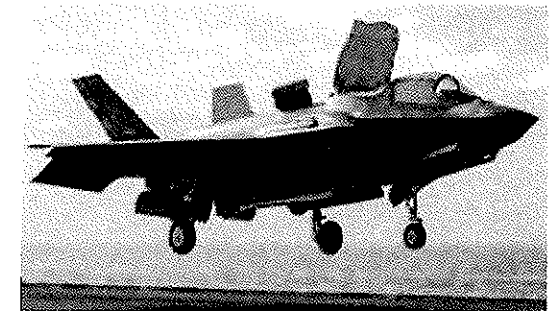
○発着艦は計2回実施

○艦艇におけるF-35Bの運用に必要な各種教育訓練等を実施

○発着艦に際しての各種データを計測・収集



【護衛艦「いずも」】



【米海兵隊戦闘機 F-35B】